

令和5年度 第3回高浜市人にやさしい街づくり及び障害者施策審議会 議事録

日時：令和6年2月9日（金）
15時30分～

場所：いきいき広場 2階 いきいきホール

【欠席委員】

野々山委員

1 開会

○資料確認

2 あいさつ

○会長挨拶（野口会長）

3 議事

- (1) 高浜市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画（案）の修正について【資料1】
（事務局より資料説明）

<意見・質問なし>

- (2) 高浜市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画（案）に関するパブリックコメント（意見募集）の結果とその対応（案）について【資料2】【資料3】
（事務局より資料説明）

委員：加配が必要な子どもに対する延長保育等に関して、回答に「施設の事情を踏まえて、利用についてのご相談をさせていただいています」とあります。これまでそういった場合の延長保育等の利用は難しいと考えていましたが、事情によっては対応していただけることもあるとらえてよろしいですか。

事務局：そのように聞いておりますし、事例があると聞いております。

委員：では、これまでは基本的に利用できないと認識していたので相談支援をする際にもそのようにお伝えしていましたが、相談すれば対応してもらえるかもしれないとお伝えしても良いですか。

事務局：こちらの内容については担当グループが異なります。そもそも相談支援の窓口は保育園等の入園について可否を答えられる場ではないので、市の担当者と相談していただく方が良い、というような言い方をしていただければと思います。

委員：資料1-2の47ページに書かれているペアレントメンターの人数ですが、現状6人いますので修正をお願いします。恐らく、確認された際に私から誤ってお伝えしてい

るかと思えます。

事務局：いつから6人になっていますか。

委員：2年に一度研修があるので、令和3年度に6人になっています。

事務局：では、図表V-7のペアレントメンターの人数について令和3、4年度の実績の数値を6とし、図表V-8のペアレントメンターの人数の見込量については、令和6、7年度を6、令和8年度を7にするということによろしいですか。

会長：図表V-7の令和5年度のところについても、実績値を入れ込んだ方が良いのではないですか。

事務局：この計画では令和5年度については計画値のみ記載するという形で統一しておりますので、この部分についても実績値を入れることは控えさせていただきます。

委員：図表V-7の対計画比についても、修正が必要です。

事務局：計算して修正いたします。

委員：細かいところですが、20ページの精神障がいに対応した地域包括ケアシステムの構築について、前回指摘させていただいた「にも」という表現が「に」に修正されていることを確認させていただきました。

4 報告

- ・ 地域生活支援拠点部会「ひきこもり支援研修」の実施について【資料4】
- ・ 障害福祉サービス事業所部会「虐待研修」の実施について
(事務局より資料説明)

<意見・質問なし>

- ・ 令和6年度農福連携推進事業計画について
(事務局より資料説明)

会長：この農福連携事業は既に実施されていますよね。では、この令和6年度農福連携推進事業計画は、先ほどの第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画にどのように反映されていますか。

事務局：障がい福祉計画および障がい児福祉計画についてはサービス提供の見込みを記載する計画になっておりますので、この計画の中では農福連携事業等の総合的な施策の方向性を示す内容については記載しておりません。今回の計画とは別にもう1つ、6年に一度作る障がい者福祉計画というものがあり、こちらでは広く障がいのある方々に対する施策の内容を定めておりまして、その中では農福連携事業について既に記載しております。本日農福連携推進委員会があり、そちらで年間の事業計画の資料が出されたので、この場でも紹介させていただいたという形です。

会長：では、次回の障がい者福祉計画の策定はいつになりますか。

事務局：3年後になるので、恐らく令和7、8年度に令和9年度からの計画を作ることにな

ります。その際は6年の計画である障がい者福祉計画と、今回作成している障がい福祉計画・障がい児福祉計画をセットで作成するスケジュールになるかと思えます。

会 長：それらの計画に関する審議の場はどこになりますか。

事務局：計画の審議会については、この審議会を計画策定の審議体としてこれまでも実施してきております。

委 員：「③ 福祉事業所と地元企業による農福連携」について、この地元企業とは具体的にどの企業のことか決まっていますか。

事務局：まだ具体的には決まっておらず、今日の委員会の中でも、商工会を通じていずれかの企業と連携ができるよう模索していきたいという話が出ている段階、というのが現状でございます。この農福連携推進委員会の活動の中で、犬山市にて農福連携事業を広くやっている企業さんを事業所の皆さまと一緒に視察しています。そこで実際の事例を見られた委員の皆さまが、高浜市でも地元の企業とできることについて模索していきたいということで、来年度そこに着手できると良いと考えているという話を聞いています。農福連携ということで、候補としては主に食に関わる企業さんの名前があがっておりますが、具体的な話はまだ進んでいないためお名前を出すことは控えさせていただきたいと思えます。

5 その他

委 員：計画とは直接関係ありませんが、この審議会とは別に高浜市地域自立支援協議会というものがあり、そちらでもこの計画の話がされているかと思えます。これから高浜市における障がいのある人を取り巻く環境を良い方向に変えていこうと考えた時に、私はこの自立支援協議会の機能強化が必要だと思っております。部会の数も少なく、まだ機能が弱いのではないかと考えているので、来年度以降この機能強化を進めていただき、障がいのある方々が暮らしやすい、より良い高浜市をつくっていただけるとありがたいと思えます。

事務局：実は今年度、自立支援協議会の会長から、会長や各部長、事務局が集まって今後の自立支援協議会のあり方について検討する場を設けたいというご提案をいただきまして、これまで2回会議を開催し、今年度中にあと1回会議を予定しております。これまで自立支援協議会本会議の開催については、行政が各部会の事業報告をするための場になってしまうところがあり、今回の計画にも記載している地域包括ケアシステムの関係者の協議の場という機能も果たせていないところがありましたので、そういった使い方も含め今後考えていく必要があると思っております。他の自治体では自立支援協議会において相談支援事業所の方に事務局的に関わってもらっている、というように会長もおっしゃっていますし、すぐに切り替えることは難しいとは思いますが、そのような方向に向けて時間をかけて関係者の意見を集約し、新たな形を目指していけるよう協議をしているところでございます。各部会に出席していただ

いている事業所におかれましては、出席されている方にご意見を預けていただいても結構ですので、今後皆さまのご意見を頂戴し自立支援協議会の機能を強化して、皆さまに活用していただいたり意見交換ができる場にしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

6 閉会

以 上

令和6年 月 日

会議録署名者

会 長 _____

副会長 _____